

ご寄付のお願い

子どもの居場所ヒーロー研究室の危機
公共の助成金も何年かすると、頂けなくなることを知り、大慌てをしました。今期も、河内長野市内の会社からの寄付と、入居先のビル管理組合のご厚意で持続することが出来るか？子ども達からお金を貰うわけにもいかず…。どうしたものかと悩む日々。公共の仕事をしていると、毎年、先行きをどうしよう…と、悩む時期でもあります。

バリスタとブドウパン

我が家の朝は、ネスルのコーヒーマーカー「バリスタ」の「バリバリバリ」という賑やかな音で始まります。顆粒のインスタントコーヒでもまずまず…の風味になります。夫は、本格的な豆からのコーヒより気に入っているそうです。私は、もともと紅茶が好きなのですが、「面倒」が先立ち、バリバリと賑やかなコーヒのお付き合いをしています。ミルクをたっぷり入れ、コーヒ風味ミルクになります。パンは、干しブドウたっぷり入った「道の駅」の出来立て食パン。3斤買って帰ります。「出来立てなのでスライスの機械に入らない。」との事で、仕方ない！パン切ナイフと格闘し、1食分ずつせっせとラップに包み、冷凍します。なんだか、いらない苦勞をしているような気がしないでもない…。レイコサンです。



ガッシュ画会が運営する
ホームページのQRコードで
す。スマホで読みとれます。ご
閲覧下さい。

ガッシュ画会

主宰 船本清司
船本礼子・船本大輔

586-0074 河内長野市大矢船南町 6-7

電話・FAX が一つになりました

Tel 0721-63-5939 Fax 0721-63-5939

清司携帯：090-1586-1058

ホームページ

<http://www.seijigouache.com/>

小さな本棚

時々、関東に住む私の妹が、文庫本をどっさり送って来てくれます。小説を読むことが大好きというか、唯一、私の癒しでもあるので、ありがたい！最近、お隣の奥さんも、本好きと判明。もう20何年は、お隣さんだったのに…彼女の事何も知らなかったことを実感。(年齢が違うことと、お互い仕事をしている事もあるけれど…良かった！)そこで思いついて、子どもの居場所にも30冊ほど棚に並べてみました。さっそく、あまりお話をしたことの無い保護者の方が、嬉しそうに選んで持って帰られました。この輪が広がれば良いなあ。妹に、もっと、せっせと本を読んでもらうように頼もうと！

道の駅のマルシェ

私たちの住む河内長野市の深い谷の中に、「道の駅」が農協の販売所と共にあります。休日は広い駐車場も満杯！道の駅の立ち上げを、お手伝いをしたことで、何かと繋がりができています。日曜日「マルシェ」をする。というお知らせがあり、募集をかけたのですが、2件しか集まらず、私たちも「にぎやかし」ということで参加しました。結果？惨敗！キッチンカーや色々なプロの方々も出店していましたが、人影無し状態。一番賑わっていたのは、農協さんのお花売り場。「なんで皆さん、お花買っている？」と私がつぶやくと、「お彼岸だから」と清司がぼそりと教えてくれました。新鮮なお花がとても安い！お花と「お彼岸」が結びつかない自分が何とも言えず、行事ごとに疎い。と、今さらの様に自分を認識…。

ヒーロー研究室のピアノ

相変わらず、大勢の子ども達がやって来ますが、入れ替わりがあります。やって来るのはほとんど小学生。中学生になると、子どもを卒業するらしい。最近では、ピアノを弾く子が多くなり(全員女子)ピアノを続けるのも忍耐がいります。でも、気軽に発表することが出来る場所があり、皆が拍手し、褒めてもらえる場所があることは、きっとやりがいに繋がることと思います。



ガッシュ画会会報 NO86 2026年8月 文章 礼子 構成 清司

AIと相談？ ネットワーク構築とできた！

近頃、AI を使って何でも相談することが出来ます。私は、SNS でずっと作品を発信していました。しかし、なんと！「作品を購入したい方との連携が取れていない！」と、AI の指摘。AI いわく、「ネット社会では、連携と、ファン作りに取り組んでください。」「人々は、画家の目線を知りたいのです。」と、AI に諭され、パソコンに向かっていきます。ある時、「文章を書くのは苦手だ。」と、AI に打ち込むと、「上手でなくていいのです。人柄を知ってもらうのです。イベントや、キャンペーンはいりません。」と諭されました。ハッハ・ハ・ハ！ そうなのか…！と、いう事で、画家の目線や、ヒラメキを発信。なんと！確実に閲覧者数が増えています。それを報告すると、「閲覧数に惑わされず、書き続けましょう。」とAIのご宣託。パソコンの中に誰か入っている？

ホームページ：セイジガッシュドットコム

<http://www.seijigouache.com/>



ガッシュ画会展

11月3日(火)～8日(日)

11月に恒例のガッシュ画会展を、ロイヤルホテルギャラリーで開催します。

講座も減り、生徒さんも減り…開催を悩んでいましたが、踏ん張ってガッシュ画会を盛り上げよう！と決めました。新たな試みの、清司の「小さな小さな物語」10cm×10cm×3.5cmのキャンバスも展示します。

お知り合いをお誘いの上、ご高覧いただければ嬉しいです。

●お休みの方で出品を考えていただけますと幸いです。送っていただければ添削いたします。



何を描くか？

ガッシュ画会展が、近づいています。生徒の皆さんも、何を描くか？悩んでいらっしゃるでしょう。何を描くのか？何故それを描きたいのか？と、ブツブツ悩みながら、なかなか筆が進まない。というか、取り掛かれないレイコサン。生徒さんにあまり偉そうなことは言えません…。先日、手入れをしていない裏庭で、知らない間に、コンモリ葉っぱの生えた、植木鉢を発見。「オ～！美しい！楽しそう！」なんのてらいもなく、生えている事に感動。な「笑っているこの葉っぱを描きたい！」と、久しぶりに自分の為に描くことにしました。さて、思ったように表現できるかどうか？ちょっとドキドキです。

ホームページ：アートコミュニティ

<https://www.artcommunity.jp/>

「それいけ！レイコセンセ」

来年はやってくる…カレンダーの制作

我が家では、夏休みが終わると、来年がやってきます。カレンダーの制作を考える時期。恒例の清司手描きカレンダーは数点。印刷のカレンダーは200部あまり。1年が終わると、数字の部分は切り取り、それを額に入れると一つの作品となる、「お得？な」カレンダーです。何を描くか？そろそろ、清司のだんまりの日々がやってきます。今年はどんなカレンダーが出来上がるのか？他人事の様に楽しみにしています。

2027 年カレンダー

- 手描きカレンダー ￥11000(税込)限定 20 部
風景と花を組み合わせていますがお任せになります。
- 印刷カレンダー A4 サイズ ￥1100(税込)
お申し込みは、お電話、FAX でお願ひいたします。
ガッシュ画会展会場にも置いています。

「小さな小さな物語」10 cm角キャンバス制作



私は、一つ一つに物語やユーモアを感じる作品を小さなキャンバスに閉じ込めたいと思っています。4点入る額があり、入れてみました。かわいって感じ！です。(税込価格5,500円)

夏休み

「警報級」の暑さだとか。体感としてはあまり分らないけれど、そういえば、子どもの頃にはクーラーもなく、母のウチワの風だけで眠っていました。夕食後は、それぞれの家庭の長椅子を出し、ご近所さんとの交流がありました。ウチワが扇風機に替わり、いつの間にか、ご近所との大人も子どもも交えた交流がなくなりました。今は、何もかも便利な機械に替わり、あっという間にデータが見つかり、必要な品物は、宅急便でやって来る。ゆったり過ぎていく四季も、無くなりつつあるのでしょうか？そういえば、最近、我が家の近くで子どもの走り回る声も聞こえない…。この暑さで、私たちが運営している「ヒーロー研究室」のお借りしている、スーパーの薄暗いクーラーの効いた大きな休憩場所も、子どもや年寄りでいっぱい。もちろん、ヒーローもゆったり涼む子どもで満席になることも…。喜ぶべきか？憂うべきか？悩みますねえ…。

AIは万能？

近頃、広辞苑を開くことが少なくなりました。「ウム～この漢字はどう書く？・この意味は？」と、重～い広辞苑を出し、調べていましたが、今は携帯電話でAIに尋ねます。と、「ハイレイコサン、今日は何の御用ですか？」と、瞬時に出て、問いかけに答えが現われます。その度に、何十年も前に見た映画「スターウォーズ」の1シーンが頭に浮かびます。主人公の一人ぼっちの少女が、大きな大きな機械に話しかけるのです。確か、機械は音声で答えていました。「誰かが思いつくと、必ずそれは実現する。」ずーと以前に何かで読みました。でも、映画を見たあの頃、人間が簡単に機械とお喋りが出来、宇宙へ行くことが出来る。とは思いませんでした。今は、何事もAIに尋ねないと生活できなくなるかもしれないというか、なりつつあるようです。そうそう、少女が尋ねるコンピュータの名前は、「エヌワンケノービー」と記憶しているのですが…。(ちょっと怪しい)

お絵描きとピアノ

「ピアノは、すぐに曲が弾けない。」と、子どもも大人も分かっているけれど、なぜか、「絵を描くのも、それと同じ」とは思っていないのです。両方とも、練習しなければ思うよう手が動かないのです。後、心打つ曲が弾けるか？絵が描けるか？は、その人の練習量と、才能という分からい何かにかかってきます。もともと、両方ともそれプラスアルファが、当然あるでしょうねえ。

★時々、子どもの頃の私が横に立っている。子どもは良く分かっている

子どもの居場所にやって来る子どもたちは、時々高校生や大学生もいますが、ほぼ、小学生・中学生です。男女の比率はほぼ同じですが、まったりとテーブルに座って宿題したり、お喋りしているのは女子ですねえ。小学生でも、4年生を過ぎると動作も言葉も変わってきて、時々、そうなんや！と教えられ納得・なっとく。という事も多くなります。子どもたちは言葉にはならないけれど、世の中のしきたりや、難しさ等、いろんなことを理解しているのです。時々、子どもの頃の私が、横に立っているのを感じます。

★AIは、万能？ シン読解力(新井紀子著)

近頃私も、何かというとAIを頼るようになりつつあります。この本では、今までとは違った読解力が必要である。と、説いています。

物語を読むだけでは、全てのことに読解力が付くとは言えない。数学、理科、などなど専門の単語の読解力が無いと解らないと分析された本です。私は、基本は教科書を読み込み単語も合わせて覚えることだと思います。

